

# 日本ラグビーフットボール協会 Emergency Action Planテンプレート

◆このテンプレートは日本ラグビーフットボール協会(安全対策委員会)が作成したものです。各チームの環境に合わせて緊急時対応計画(Emergency Action Plan：EAP)を作成するための一助となるように提供します。

◆日本ラグビーフットボール協会に所属する各チームはEAPの作成を行い、運用できる状態にすることを努力目標として下さい。

◆EAPの表面には施設のレイアウトや緊急度に応じたフロー、連絡先リストを、裏面にはEAP作成に必要な項目をチェックリストにしていますのでご活用ください。

◆EAPの表面は印刷して、見やすい場所に掲示して下さい。

◆作成や運用に関して不明な点、困難な点がありましたら安全対策委員会宛までご連絡ください。

グラウンド情報(練習・試合会場等のレイアウトを記載して下さい)

Blank area for ground information layout.

緊急連絡先

- ① ( )
- ② ( )
- ③ ( )
- ④ ( )
- ⑤ ( )

施設名称：( )

施設住所：( )

緊急時対応フロー

役割

事故発生

緊急性のある症状

意識や反応がない, 普段どおりの呼吸ではない  
手足を動かさない, 大量の出血, 強い頭痛や吐き気

① (担当： )

119へ通報

② (担当： )

119通報時に指令官から聞かれる主な内容

- ① 「火事ですか? 救急ですか?」 → 救急です
- ② 「住所はどこですか?」 → 上記の住所と施設名称を伝える
- ③ 「どうされましたか?」 → 選手の状況を伝える
- ④ 「あなたのお名前と連絡先を教えてください」 → 通報者氏名と連絡先を伝える

③ (担当： )

④ (担当： )

関係者への連絡と救急車到着の準備

(担当： )

救急車到着後, 同乗して病院へ

作成日

年 月 日

## 役割分担

- 各項目ごとに明確に役割分担ができている
- EAPに関わる選手・スタッフが自分の役割を十分に理解できている

## 資機材の場所

- AEDの設置位置を記載している
- AEDを取り、グラウンドまで戻ってくる時間を把握している(        分)
- AEDは練習/試合中、常にアクセスする事ができる

## グラウンド情報

- 施設名称と住所を正しく記載している
- 施錠されている部分の開け方などを確認・記載している
- 落雷や台風などの自然災害の際の避難場所を記載している

## 各機関の連絡先

- チーム関係者やグラウンド管理室の連絡先を記載している
- 土日祝日も対応可能な医療機関を把握し、連絡先を記載している

## 救急車の侵入経路

- 救急車の侵入経路と停車位置を記載している
- 救急車を誘導するスタッフの位置を決めている
- 救急車がグラウンドの中まで入れるかどうか、確認している

## 避難場所

- チーム全員が落雷から身を守る事ができるような建物がある
- 建物が近くになかった場合、別の避難の手段を準備できている